

社協 寺小屋プロジェクト

児童クラブ・児童館で「宿題サポート（遊び・体操も含む）」を7月30日(火)・31日(水)の二日間行いました。参加した子どもたちは、小野学区・和邇学区の児童合わせて延べ66名。スタッフは延べ17名。宿題サポートではスタッフが悪戦苦闘している場面もありました。遊び・体操なども折り込み、盛りだくさんのメニューを児童とスタッフともども楽しくすごしました。



京都鉄道博物館見学

8月21日(水)。猛暑の中を参加者、スタッフともども元気に小野支所前をバスで出発し、全員無事に帰宅することができました。参加者は子どもたちが30名。スタッフは9名でした。博物館内は冷房が程良く行き届

いており、展示品には児童も興味津々で濃密な時間が流れました。蒸気機関車の乗車体験は、石炭を焚く煙が流れ、汽笛が鳴る中をわずか1km、10分間でありましたが貴重な楽しい体験でした。



平井康治氏

「長寿を祝うつどい」 9月21日(土)



川崎龍太郎氏

毎年好評の「長寿を祝うつどい」は今年も117名と大勢の方々にご参加いただきました。プログラム最初の平井康治氏(水明一在住)の、懐かしの昭和歌謡曲集といったメドレーにふさわしい、やさしい情趣を醸し出すアルトサックスの音色に耳を傾け、吉永小百合の「いつでも夢を」のとき自然と声が大きくなったのは青春がよみがってきたからでしょう。リラックス体操の川崎龍太郎氏(守山市在住)は当日の最年少者。若さいっぱい、リズムこそ健康の源というように手・足・腰・目・脳内、全身を使って軽い運動をリードし、ひととき会場が躍動しました。大トリは「ハーモニカ友好会」5名による演奏。「琵琶湖周航の歌」はみんなで熱唱しました。高度なテクニックを披露され、最後に「平均年齢は84歳である」とチーム紹介をされると、「おー」と感嘆のどよめきと大きな拍手が巻き起こりました。

来年もまた きっとお会いしましょう

出演者は7名。他にスタッフが21名。民生児童委員・自治会会長及び副会長・福祉委員とたくさんのご助力を得ました。小野小学校長と教頭も事前準備に協力してくださいました。例のない猛暑のなか冷房の無い体育館では長時間のイベントは無理と判断して、短縮プログラムで実施した「つどい」でした。



ハーモニカ友好会のみなさん

小野学区空地空家対策事業 庭や空地の 草刈り・剪定 随時 受付中

- 概要 ① 参考料金 10,000円 (1人8時間の作業報酬と諸経費)
 ② 空地(60坪程度)の除草(機械刈り)
 庭の除草清掃(含手作業)・簡単な剪定(委細相談)・小倉庫の解体処分などの軽作業



申込用紙は小野コミュニティセンターに置いてあります



小野 まちづくり交流館

小野学区安心安全事業基金

ご協力 ありがとうございます

おかげさまで……、多くの協力金をいただきました。繰越金と合わせて511,521円の収入となりますので、今年度の計画(浄水器、パーテーション、使い捨て食器の購入など)を執行でき、いざというとき、対応の幅を増すことができます。そればかりか、少額ではありますが残余金が見込めます。まもなく10年を経過する福祉防犯カメラの更新に備えて積み立てを始められそうです。これもいつもながら住民のみなさまのご協力のたまものと感謝申し上げます。今後とも安心安全なまちづくりのために、確実、計画的に役立たせていただきます。

協力金の集計

9月21日現在

コミセン募金箱	27,208円
朝日一丁目自治会	57,874円
朝日二丁目自治会	103,048円
湖青一丁目自治会	25,851円
湖青二丁目自治会	58,000円
水明一丁目自治会	56,667円
水明二丁目自治会	72,742円
合計	401,390円



パーテーションとトイレなど ・ パーテーション組み立て ・ 車椅子対応型大型テントトイレ組み立て ・ 医療用大型テントと保存食

阪神淡路・東日本… 能登を忘れじ

11月10日(日)

大津市総合防災訓練

主会場：小野小学校



JR小野駅前広場の 障害者用乗降場整備(大津市試案)について

この始まりは一昨年の冬のことでした。雪が降り積もった日のことです。障害のある方がJRを利用すべくタクシーをロータリーまで乗りつけたのですが、足下が悪いので駅前広場を抜けて駅真近で降りしてほしいと運転手に依頼されたところ「乗り入れ禁止」を理由に断られたため仕方なく降車し、雪の中を歩いて改札へ向かわれました。列車には間に合ったものの、やるせなさや憤懣は押さえられなかったそうです。後日、清涼飲料水などの関係車両は進入できるのに、なぜ障害者や高齢者、妊産婦などへの配慮的対応がなされないのかと大津市へ訴えられたのでした。

この話を受けて市は自治連合会(地域活性部会)と協議し、現況のような障害者用駐車場を設置し、「歩車分離」を原則にして乗降場までの仮設進入路の整備を行いました。昨年の2月のことです。その際にもさまざまな意見要望が出たのですが、これは飽くまで一時的応急的な対応であり、以後協議を続けて結論を出す、という確認をしておりました。

障害者用駐車場を設置することを除いて、住民の評判は当初からよくはありませんでした。時間が経過する中、数回の打ち合わせ、会談を重ねました。また市は、今年8月20日(火)に交通量調査を実施し、乗降場の利用状況や駅利用者の歩行動線などを調査しており、整備計画に反映させているといいます。

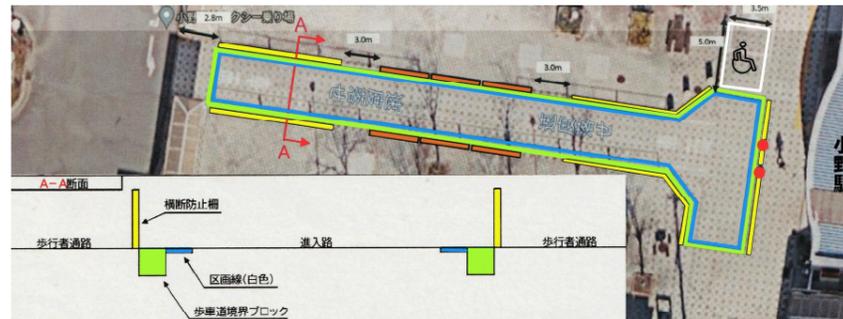
9月14日(土)、まちづくり協議会の臨時集会を開き、JR小野駅前広場の整備について大津市の提案を聞きました。その概要は次のような内容です。

交通量調査結果のまとめ

- ・障害者用乗降場の利用は見られなかった。
→乗降場の周知が必要
- ・駅周辺施設への進入車両は定期的に見られた。(新入車両 7:00~21:00 17台)
→進入車両と歩行者の分離が必要であり、現状の仮設構造物は一定の役割を果たしている。
- ・「朝の通勤、通学時間帯」及び「夕方から夜にかけての帰宅時間帯」について駅利用者が非常に多かった。
→歩行者の安全確保を固める必要がある。
- ・通過経路別の人数については、南側からの駅利用者が徒歩のみにかかわらず多かった
→現在、車止めが設置されていることで、一定の安全確保が図れている。
- ・歩行者の動線を確認していると、仮設構造物を横切るような利用者はいなかった。
→現状の仮設の形態において、歩行者の通行の支障となる状態ではないと考えられる。
- ・高齢者の方が、タクシー乗降場で降りて、真ん中の通路を歩いておられた。
→障害者用乗降場の周知が図られていない。
→障害者だけでなく、高齢者や妊産婦、乳幼児連れの方など、幅広く利用できることを周知する必要がある。
→乗降場を認知していただくための工夫(タクシー協会への再周知等)を行う必要がある。

障害者用乗降場整備計画(案)

- ・障害者用乗降場の利便性向上
→乗降場を駅入り口に近づける
- ・歩行者の安全確保①
→進入路と歩行者通路を区画線、縁石及び横断防止柵で分離する。
- ・歩行者の安全確保②
→駅の正面入り口前に車止めを設置する。
- ・歩行者の利便性向上
→進入路に2箇所の通り抜けスペースを設置する。
- ・災害時等の駅前広場の一体活用
→横断防止柵の一部を脱着式構造とする。



- ① 障害者用駐車場位置は現状のまま
- ② 青は白色の区画線(交通案内誘導や指示)
- ③ 緑は白色の道路標示
(交通に関する規制または指示)
- ④ 赤は歩車道境界ブロック(埋め込み式)
- ⑤ ●はポラード(車止め)
(誤発進などによる進入を阻止するため)
- ⑥ 黄は高さ90cmの横断防止柵(固定式)
- ⑦ 茶は高さ90cmの横断防止柵(着脱式)

まちづくり協議会としては、障害者などに十分に配慮する点は評価できるのですが、1日にわずか17台の進入車、そのほとんどが駅周辺の自販機用や事業用の車であることを考え合わせると、一般の公道と同様に「歩車分離」の原則を適用しようとするのは現実的に無理があると考え、駅前広場としての機能を残すことを前提に、誰もが安心してゆったりと行動できる空間となるよう、協議をつづけていきます。

ご質問ご意見は文書にて小野学区まちづくり協議会(コミセン受付)か自治会宛お寄せください。

広報紙「まちづくり交流館」編集員(ボランティア)募集

ご希望の方はコミセンの窓口までお申し越しください



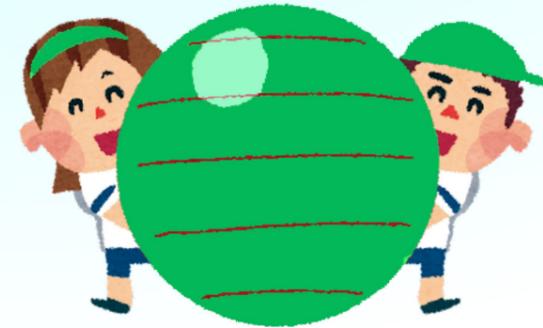
7月21日(日) 体育館で体験卓球会を開催しました。約40名参加。初心者からベテランまで、楽しくラリーや試合を体験しました。この時期の窓を締め切った中での開催はかなり危険ですので、開催時期の変更を検討する予定です。ご協力いただいた団体の皆様、ありがとうございました。参加者のみなさま、また楽しみましょう。

気軽に みんな一緒に楽しみましょう

第41回 学区民 体育祭

小野小学校グラウンド(雨天の時:体育館)

10/13(日) 開会式 12:45~



絶対 実施!!

警報などが発令されたら 中止します

**参加&応援
熱烈大歓迎!!**

ですが... お車での来場はご遠慮ください



今日も 明日も しっかり 動きましょう!!

福祉・介護・保健 なんでも相談 **和邇あんしん長寿相談所**
開所時間 平日 9時~17時 電話 077-594-2660